

重度障害児と家族を支援

デイ施設 来月1日開所

松本市今井

医療的なケアや専門的な支援が必要になる重度の心身障害児・障害者を対象にしたデイサービス事業所「雲のポケット」が10月1日、松本市今井に開所する。重度の障害がある人への支援に特化した施設は県内で珍しく、看護師や保育士ら専門スタッフがそろい、入浴サービス、療育、発達支援、生活介護などさまざまな面から障害者の生活や家族を総合的にサポートする。9月15、16日に内覧会が開かれる。

(注 隆子)

長野市で宅老所を営むNPO法人こすもけあくらぶが運営し、訪問看護や相談支援も行う多機能事業所となる。高齢者向けの福祉サービスを行う中、重度の障害がある子供を預けられる場所が身近になくて困っていると、保護者らの声を聞き、地域の受け皿の少なさを改善したいと開

クリアーションや機能訓練をして過ごす。のびのびと過ごせる内装が特徴で、ニーズの高い入浴サービスに配慮するため寝たまま入浴できる浴槽を備える。人工呼吸器の扱

い、たんの吸引といった医療ケアも提供できるように看護師が常勤し、発達支援に詳しい保育士、理学療法士ら専門職員計20人が支えていく。

重度の障害がある次

男(14)を自宅で療育してきた阿部真由美さん(53)「松本市笹部1」は「身近に安心して預けられる場所があると本当に助かる。子供が自宅ではできない経験ができるし、家族が自分の時間をつくることにもつながる」と期待する。運営法人の顧問・小野恵嗣さん(61)は「地域全体で支援体制を底上げできるように、重度障害者の生活をトータルに支える活動を進めていきたい」と話している。

内覧会は2日間とも午前9時〜午後4時。事前予約は必要ない。住所は松本市今井2616-1。問い合わせは事業所長の林律子さん(☎070・4800・26220)へ。



重度障害児らが利用できるデイサービス事業所として開所する「雲のポケット」